

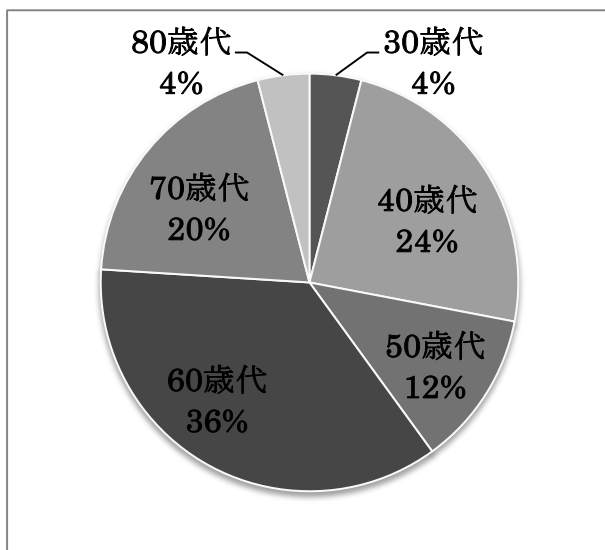
敦賀市庁舎建設候補地アンケート調査 結果

(中郷公民館 5月18日説明会分)

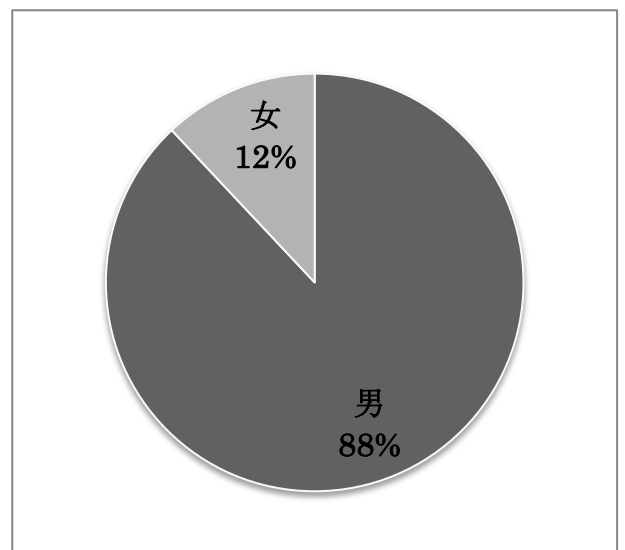
1 説明会参加者情報

(1) 参加者数 25名

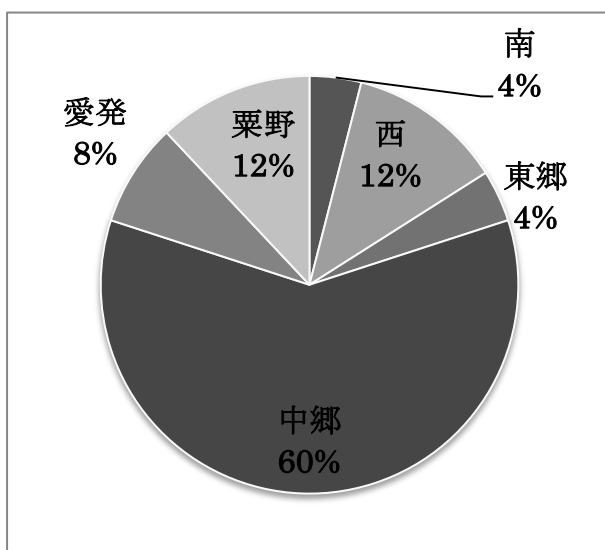
(2) 年代



(3) 男女の別



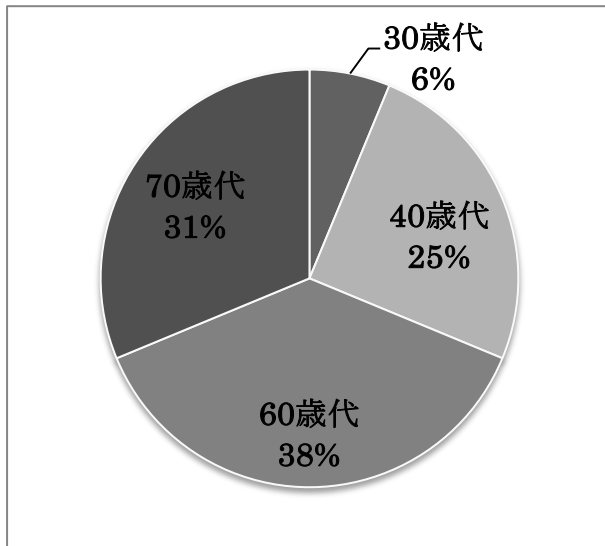
(4) お住まいの地区



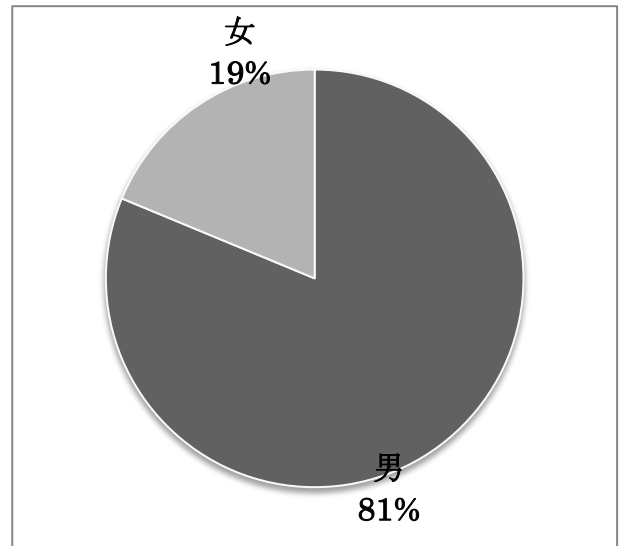
2 回答者情報

(1) 回答者数 16名

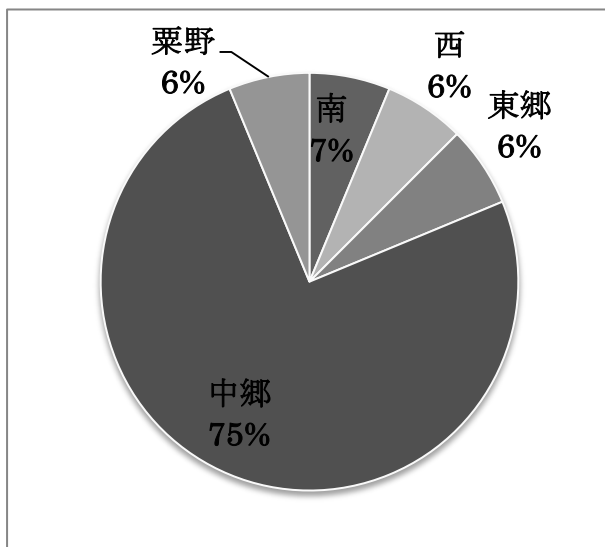
(2) 年代



(3) 男女の別



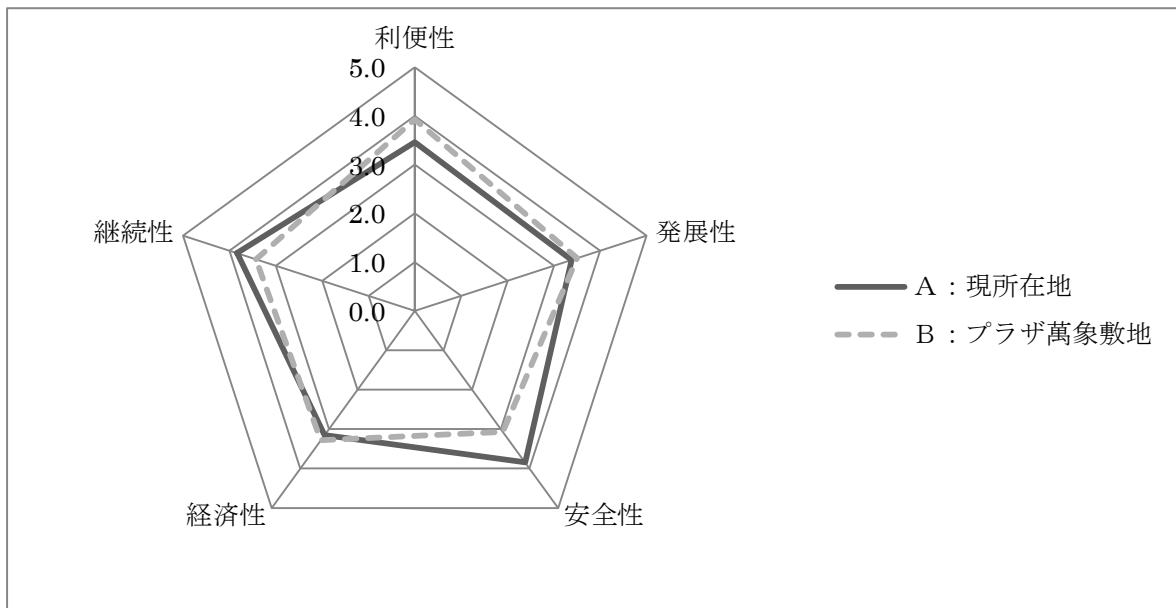
(4) お住まいの地区



3 各候補地の数値評価

候補地である「A：現所在地」、「B：プラザ萬象敷地」について、「利便性」、「発展性」、「安全性」、「経済性」、「継続性」の各視点について5（高い）～1（低い）の5段階評価をいただきました。

平均評価点数

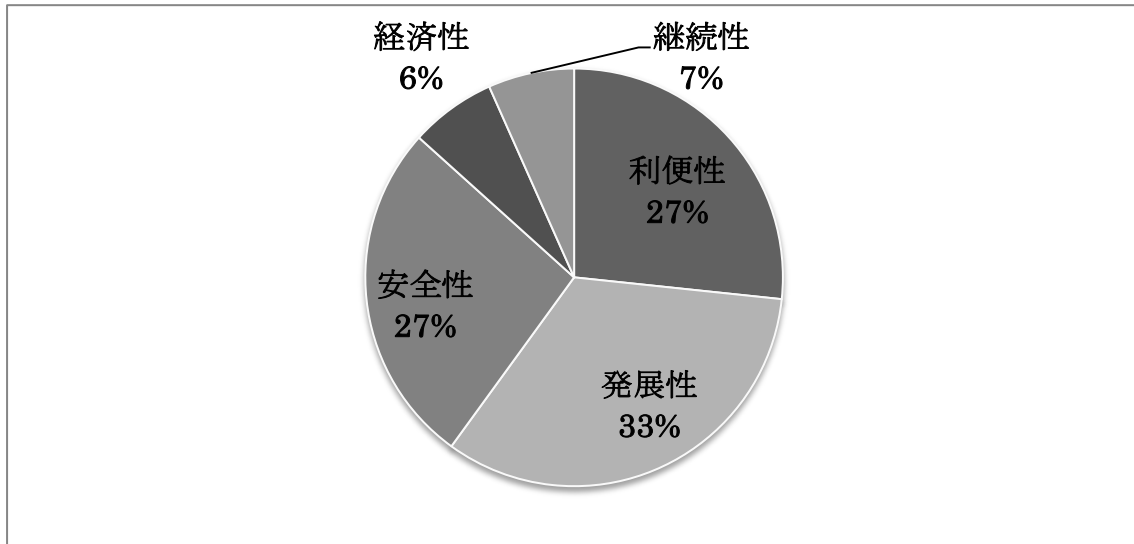


また、「A：現所在地」、「B：プラザ萬象敷地」のほかに新たな候補地がよいと思われる場合は、候補地名を記載のうえ、数値評価をいただきました。2名が新たな候補地を回答されました。

候補地名	人数	平均評価点数
苜生野	1	
栗野地区	1	

5 重視項目

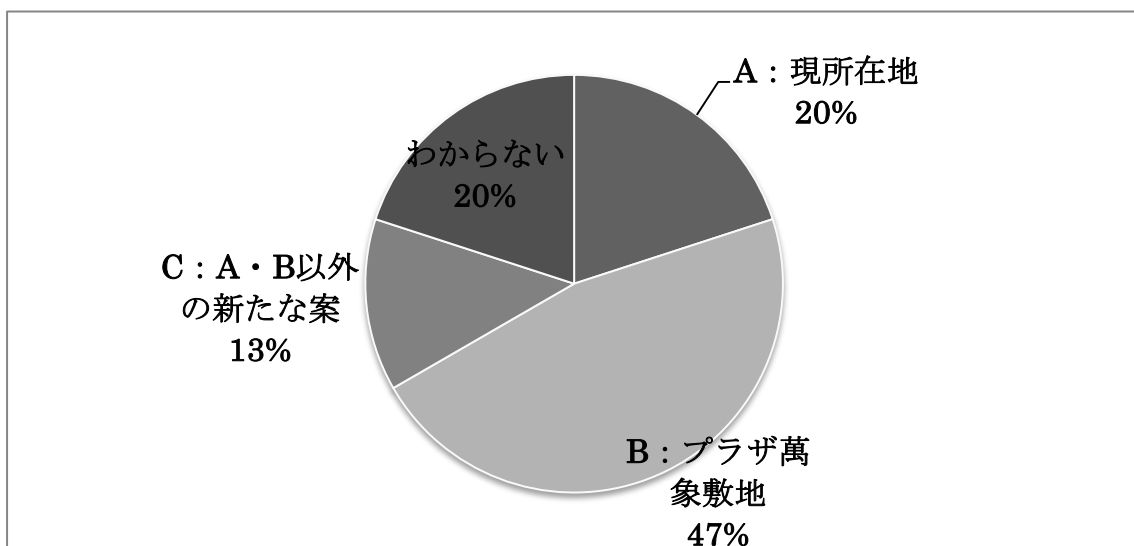
「利便性」「発展性」「安全性」「経済性」「継続性」のうち、一番重要視する項目を一つ選んでいただきました。



※回答なし 1名

5 総合評価

総合的に判断して、適当と思う候補地を選んでいただきました。



※回答なし 1名

6 候補地等に関し自由意見

- ・ 1 庁舎は命の司令塔、津波対策を講じるべき、現在地の海拔は≒3m 候補地の萬象は≒4m
- 2 行政の津波想定は？気象庁が若狭湾断層帯津波シミュレーション≒8.6mと他断層帯津波≒7m 平成29/3/10日の気象庁発表
- 3 庁舎建替えは耐震対策のみ、津波対策の≒1.2m海拔地を考慮する必要がある、先の東日本大震災を教訓にすべき問題です
- 4 候補地選定に制約は設けない、安全な場所と発展の伸びしろのある地域を選定すべき 市民の命を第一に考慮し建設費用はその次、国の助成金制度はまだ他にある
- 5 新候補地は海拔≒1.2mの国道ルート27金山バイパス沿線沿い南側の住宅地周辺の安価な農地利用、将来美浜町等の合併も見据えた場所、将来の伸びしろと今後の未来予想図を描くのに最適地と考える 50年100年まだまだ先まで考えるべきである。(現在農地整備事業計画中である為今が好機です) (筋生野庁舎案)
- 6 庁舎等は人口の多い粟野地域の方が市民の利便性に必須条件
- 7 庁舎等は駅前に移転しても集客に効果なく、商業(アウトレット)か娯楽、観光産業や地場産業の誘致で他県にない魅力ある駅前を模索し、新規集客の新幹線客をリピーターに誘導する
- ・ 候補地がどこが良いというよりもそのプロセスに不信感が市民に残らないように(一部の人しか出席できない説明会で説明責任果たした等)全市民が何らかの声を届けられるような方法を考えて下さい。お忙しい中、大変だとは思いますがよろしくお願いします。
- ・ 粟野地区
- ・ 長期的にA地区には将来国際会議場等(ホテルを含む)計画を。駅周辺開発、水害防止等のため、木ノ芽川を上流地点で海に落す計画を。
- ・ 周辺道路の整備！！
- ・ 近年は公共工事が減少し、市内土建業者は著しく疲弊しております。候補地選定で住民の意見を尊重するがあまり、当初スケジュールがずれこむことのないようにお願いします。そして、建設工事発注の際には、地元業者に広く仕事がいきわたるような発注方式を望みます。

※すべての項目に回答されていない方がおられることから、回答総数と各項目の回答数が一致しないことがあります。